

# 年金事例問題演習

社労士試験の年金科目で出題される事例問題を、3つのSTEPで解いていきます。1問ずつ、じっくりと取り組んでみてください。

社会保険労務士  
伊藤 直子  
(社会保険労務士合格研究室)



## ○はじめに

社労士試験の年金科目では、長文からなる「事例問題」が例年出題されます。本特集では、このような事例問題を以下の3つのSTEPで段階を踏んで解いていきます。

【STEP 1：出題テーマを見つける】⇒問題文中のキーポイントとなる語句や記述を手がかりに、出題者がその設問で何を問うているのか（出題テーマ）を見つけます。

【STEP 2：論点を思い浮かべる】⇒「出題テーマ」をつかんだら、法令等の知識から本問に関係する論点を思い浮かべていきます。

【STEP 3：問題文にあてはめる】⇒最後に、思い浮かべた論点を問題文にあてはめて、正誤判断を行います。

それでは、さっそく問題を解いていきましょう！

## ○国民年金法

【問1】 次の文章の正誤を判断せよ。

平成15年4月2日生まれの甲は、13歳のときに第1号被保険者である父が死亡したことにより、遺族基礎年金を受給している。父の死亡の当時、甲は障害状態ではなかったが、16歳のときに交通事故で障害等級2級に該当する障害の状態になり現在（令和5年1月1日）に至っている。甲は、被保険者の死亡の当時は障害状態になかったため、甲の遺族基礎年金の受給権は、18歳に達した日以後の最初の3月31日である令和4年3月31日が終了したときに消滅している。なお、甲の他に遺族基礎年金を受給する遺族はいない。

### STEP 1 出題テーマを見つける

まず、「出題テーマ」を見つけましょう。本問の「出題テーマ」を見つけるためのキーワードは、問題文の以下の箇所の下線部分です。